

## 4 計画の推進体制

### (1) 関係機関等との連携

本市においては、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を提供するため、円滑な事務の実施を含め庁内関係部局間の密接な連携を図るとともに、県との間においても、幼稚園の運営の状況等必要な情報を共有し、共同で指導監督を行う等相互に密接な連携を図ります。

また、住民が希望する教育・保育事業を円滑に利用できるよう、市町域を超えた利用を想定して、近接する市町と連携を図り、迅速に調整等が行われるように努めます。

さらに、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を実施し、地域の実情に応じて計画的な基盤整備を行うため、行政と教育・保育施設の実施主体等が相互に連携し、協働しながら取り組みを進めていきます。

一方、子ども・子育て支援において地域の中核的な役割を担う保育所、認定こども園及び幼稚園は、子育て支援センターなどの地域子ども・子育て支援事業の実施主体との密接な連携が必要であり、本市においてはそのための支援に努めます。

また、保育を利用する子どもが小学校就学後に円滑に留守家庭児童クラブを利用できるよう、相互の連携に努めます。

### (2) 家庭・地域・事業者・行政の役割

#### ①家庭の役割

父母その他の保護者は、子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識のもとに、家庭が子どもの基本的生活習慣の確立や人格形成等にとって重要な役割と責任を持っていることを認識する必要があります。

また家庭では、男女が協力して子育てに取り組むことが大切であり、女性だけが子育ての負担を背負うことがないようにしなければなりません。

これらを踏まえ、子どもとの毎日の生活を通して、笑顔の絶えない明るい家庭を築くとともに、子どもの発達段階に応じた適切な家庭教育を行うよう努めることが必要です。

#### ②地域の役割

子どもは地域との係わりの中で社会性を身につけ、成長していきます。

家庭環境、心身の障害の有無等にかかわらず、すべての子どもが地域住民との交流を通じて健全に成長できるよう、地域の中で支援していくことが大切です。

また、子どもの「自ら育とうとする力」を伸ばすため、地域全体で子育て中の家庭を支え、地域で活動している様々な団体が行政や市民と連携し、互いに補いながら子どもの健全な成長を支援することが重要です。

### ③事業者の役割

働きやすい職場環境づくりのために、働いているすべての人が、仕事時間と生活時間のバランスがとれる多様な働き方を選択できるようになることを目指し、職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識などを解消することが大切です。

そのためには、事業者・職場自体が、このような職場環境をつくるよう努めながら、働く人々がこのような認識を深めることが重要です。

### ④行政の役割

子育て支援の取り組みは保健・医療・福祉、教育、労働、住宅、生活環境など多様な分野にわたるため、行政は、関係部局間の連携を図り、総合的な施策の推進に努めます。

また、より一層、国、県、保健所、児童相談所等の関係機関との連携を強化し、施策・事業等の計画的な推進を図って行きます。

### (3) 計画の達成状況の点検・評価

本市では、「伊万里市子ども・子育て支援事業計画」に基づく各年度におけるニーズ量の見込み、確保方策などの計画の達成状況について、「伊万里市子ども・子育て会議」で点検、評価し、この結果を公表します。また、これに基づいた事業計画の見直しや取り組み内容の改善等を図ります。

